

「第 37 回岩盤力学に関するシンポジウム」プログラム

岩盤力学委員会では、岩盤工学および岩盤力学に関する最新の調査研究、技術の成果発表の場を広く提供するため、「岩盤力学に関するシンポジウム」を開催しております。また、岩盤力学委員会の研究小委員会によるパネルディスカッションおよび講演会を実施いたします。

下記の要領で「第 37 回岩盤力学に関するシンポジウム」を開催いたしますので、各界の技術者、研究者、学生などの多数の参加をお願いいたします。

1. シンポジウム案内

主催	土木学会(担当:岩盤力学委員会)
共催	岩の力学連合会, 資源・素材学会, 地盤工学会, 日本材料学会
期日	2008 年 1 月 10 日(木), 11 日(金)
場所	土木学会「土木会館」2 階 講堂, 会議室
講演集	第 37 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集(CD-ROM 版, 参加費に含む)
参加費	当日申込:一般 7,000 円, 学生 3,000 円(事前申込(~2007/12/07):一般 6,000 円, 学生 2,000 円)
講演要領	口頭発表およびポスター発表の講演要領は、「7. 一般セッション講演要領」をご覧ください。
表彰制度	<p>表彰対象 :シンポジウムにおけるすべての口頭・ポスター発表</p> <p>賞の種類 :優秀講演論文賞・・・提出された原稿と発表の内容が非常に優れているもの。 優秀ポスター賞・・・ポスター発表の内容が優れたもの(ただし、提出された原稿が一定のレベルを満たしているもの)。</p> <p>#優秀ポスター賞の選考には参加者の声が反映されます。受付にて投票用紙を配布いたしますので、優れたポスター発表をご記入の上、受付に設置された投票箱に入れてください。</p> <p>表彰式 :シンポジウムの閉会式(1 月 11 日 17:00~17:15)</p> <p>賞品 :楯, 賞状</p> <p>表彰制度の詳細は、「8. 表彰制度」をご覧ください。</p>
問合せ先	土木学会研究事業課 増永 克也宛 TEL:03-3355-3559/FAX:03-5379-0125/E-mail:masunaga@jsce.or.jp

2. 全体スケジュール

2008/1/10(木)

会場	9:20-9:30	9:30-11:30	12:30-14:00	14:00-15:00	15:00-16:30	16:40-18:10	18:10-20:00
第1会場 (講堂)	開会挨拶*	トンネル・地下空洞 1	パネル ディスカッション①	ポスター コアタイム	透水性・グラウト 1	講演会	懇親会
第2会場 (AB 会議室)		斜面・構造物基礎 1			斜面・構造物基礎 2		
第3会場 (CD 会議室)		資源・エネルギー と物理探査			岩盤の破壊		

* 開会挨拶:西脇 芳文(岩盤力学委員会 委員長)

2008/1/11(金)

会場		9:30-11:30	12:30-14:00	14:00-15:00	15:00-17:00	17:00-17:15
第1会場 (講堂)		トンネル・地下空洞 2	パネル ディスカッション②	ポスター コアタイム	トンネル・地下空洞 3	表彰式** 閉会挨拶***
第2会場 (AB 会議室)		透水性・グラウト 2			放射性廃棄物処分	
第3会場 (CD 会議室)		室内試験・模型試験			最新の計測手法	

** 表彰式:西脇 芳文(岩盤力学委員会 委員長)

*** 閉会挨拶:清水 則一(岩盤力学委員会 副委員長)

3. パネルディスカッション

(1) パネルディスカッション①(1月10日 12:30~14:00/会場:第1会場(講堂))

テーマ	「岩盤構造物を対象とした先端計測技術利用の現状と展望」
担当	先端技術を利用した岩盤計測の体系化と実際への応用に関する研究小委員会
司会	楠見 晴重 (関西大学)
パネラー	小杉 昌幸 (産業技術総合研究所), 相澤 隆生 (サンコーコンサルタンツ) 江口 貴弘 (水資源機構), 山本 剛 (国土交通省)
内容	エレクトロニクスの発展に伴い、様々な分野で計測技術は格段の進歩を見せている。近年では、医工連携が積極的に進められており、無侵襲での計測、機能障害修復過程の計測等、高次の生理機能計測が行われ、オーダーメイド医療の実現に寄与している。これらの計測技術の一端は、岩盤工学や地盤工学の分野に援用されているのは事実である。しかしながら、岩盤工学における先端計測技術が、どのように使われ、実際どのように役立っているのか明確に示されていないのが現状である。解釈を行い、さらにその結果から対象物がどうなるのかを判断するところまでが計測である。仮に無侵襲で脳内温度分布を把握できても、その結果が虚酸素状態か否か判断できなければ、先端計測技術も意味を成さないことになる。この考えに基づき、現状の岩盤計測事例紹介を行う。また、フロアからの討議を踏まえて、計測技術の「今」と「将来」について議論を行う。

(2) パネルディスカッション②(1月11日 12:30~14:00/会場:第1会場(講堂))

テーマ	「リニアコライダープロジェクトの現状と土木技術」
担当	リニアコライダー土木技術研究小委員会
司会	近久 博志 (山口大学)
パネラー	榎本 収志 (高エネルギー加速器研究機構), 清水 則一 (山口大学) 大津 宏康 (京都大学), 市川 康明 (名古屋大学) 芥川 真一 (神戸大学), 佐野 信夫 (中日本高速道路), 清木 隆文 (宇都宮大学)
内容	リニアコライダー土木技術研究小委員会では、国際リニアコライダーの技術課題を検討している国際設計チーム (GDE) での活動を視野に入れながら、平成18年4月から、本施設を日本誘致する場合の技術的な課題を検討して、可能性のある対応策を整理検討している。平成18年11月には、GDEの活動も概略設計から実施設計に移る重要な段階に入り、これに連動して、各国の誘致活動が激しくなってきた。そして、わが国でも、平成18年6月15日に、「リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟 (会長: 与謝野前金融相)」が発足され、国政レベルでの積極的な誘致活動も開始され始めている。この時期を捉えて、今回のパネルディスカッションでは、GDEの活動を含めたプロジェクトの最近の動きとこれに並行して進めている研究小委員会の活動の中間報告と今後の方向性について議論を行う。

4. 講演会(1月10日 16:40~18:10/会場:第1会場(講堂))

テーマ	「岩盤工学による国際活動支援のために——事例に学ぶ学会活動の役割——」
担当	岩盤工学による国際活動支援研究小委員会
司会	西脇 芳文 (東電設計)
講演者	田中 克直 (国土交通省) 米村 光文 (大成建設) 金井 晴彦 (日本工営)
内容	(1) 海外活動上の問題点についての話題提供 (2) 討議: i) 講演に対する質問・討議, ii) 各機関の課題の分類・分析, iii) 岩盤力学委員会での支援の可能性 (各社対応のもの、国の支援が必要なもの、委員会で対応可能なものに分類), iv) まとめ

5. 懇親会(1月10日 18:10~20:00/会場:第1会場(講堂))

主催	土木学会
場所	第1会場 (講堂)
参加費	1,000円 (参加自由。シンポジウム開催当日会場にて受付け、お支払いいただきます。)
	【ビール片手に議論を!】 懇親会 (1/10 18:10~20:00) の時間帯もポスター発表を実施することにしました。ビール片手に活発な議論が交わされることを期待しています。

6. 一般セッションプログラム

(1) 口頭発表セッション

■『トンネル・地下空洞 1』/1月10日(木) 9:30~11:30/会場:第1会場(講堂)/司会:上西 幸司(神戸大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
1	OP	山はねを伴うトンネル工事へのAEモニタリングの適用 長谷川 温, 細川 嘉一, ○森 孝之, 竹市 篤史, 藤井 宏和
2	O	山岳トンネル事前調査における地山予測の不確実性の評価 ○長谷川 信介, 大津 宏康
3	O	デジタル画像処理を利用したひび割れ抽出による道路トンネル健全性評価 ○半田 兼一, 大西 有三, 西山 哲, 矢野 隆夫, 西川 啓一, 下澤 正道
4	O	簡易現場試験による大谷石採石地下空間の構造健全度調査の試み 片寄 友康, ○清木 隆文
5	O	TBM 施工におけるディスクカッタの摩耗と岩石の鉱物組成 ○小泉 悠, 津坂 仁和, 谷本 親伯, 中川 茂男, 藤田 直也
6	O	TBM 施工における掘削ざりりと二次破碎の評価 ○津坂 仁和, 谷本 親伯, 中根 達人, 上野 宇顕, 小泉 悠
7	O	泥濃式破碎型推進工法の巨石・岩盤への適用性 ○松元 文彦, 森田 智, 酒井 栄治, 島田 英樹, 笹岡 孝司, 松井 紀久男
8	O	インドネシア国シバンシハボラス水力発電所建設における課題と対応について 西脇 芳文, 鹿子木 唯夫, ○吉田 好男

■『トンネル・地下空洞 2』/1月11日(金) 9:30~11:30/会場:第1会場(講堂)/司会:佐藤 弘行(土木研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
9	O	地下空洞掘削時の岩盤損傷特性 ○吉田 次男, 大西 有三, 西山 哲
10	OP	水封ボーリングを用いたLPG貯蔵空洞周辺の水封機能確認方法 ○下茂 道人, 真下 秀明, 前島 俊雄, 山本 浩志, 青木 謙治
11	O	地球統計学的シミュレーションを用いた大規模LPG岩盤タンクの3次元水理地質モデルの構築 青木 謙治, 水戸 義忠, 張 傳聖, ○林 達也, 宇野 晴彦, 前島 俊雄
12	O	高圧ガス貯蔵岩盤空洞の気密性評価のための応力浸透流連成解析手法の入力パラメータの検討 青木 謙治, 水戸 義忠, 張 傳聖, ○磯井 健太郎, 田坂 嘉章, 前島 俊雄
13	O	天然ガス高圧貯蔵技術開発における実証試験施設の岩盤特性と設計 ○新美 勝之, 小松原 徹, 奥野 哲夫, 茨田 高志, 小野 純二, 中谷 一郎
14	O	天然ガス高圧貯蔵技術開発における小規模岩盤貯槽を用いた実証試験 ○奥野 哲夫, 小松原 徹, 若林 成樹, 新美 勝之, 栗原 雄二, 岩野 政浩
15	O	メンブレンとコンクリート躯体からなる新LNG低温岩盤貯槽の提案 ○岡田 滋, 百田 博宣, 藤永 友三郎
16	O	磁歪法によるPSアンカーの軸力推定法の提案と大規模地下空洞における適用例 芥川 真一, ○中森 絵美, 森本 紘太郎, 馬場 修二, 森 聡, 櫻井 春輔

発表形式・・・O：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表+ポスター発表

■『トンネル・地下空洞 3』/1月11日(金) 15:00~17:00/会場:第1会場(講堂)/司会:坂口 秀一(西松建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
17	O	個別要素法による浅層トンネル掘削時の変形挙動解析 ○大野 善考, 楠見 晴重
18	O	個別要素法による山岳トンネルの崩壊と地表面への影響解析 ○倉岡 千郎, 牧野 孝久, 柴崎 宣之, 藤田 康司
19	O	軟岩地山におけるトンネルの長期変形挙動に関するモデル実験の解析と評価 関根 裕治, 八代 義信, 田坂 嘉章, 黒瀬 浩公, ○大森 剛志, 張 鋒
20	O	2種類のコンプライアンス可変型構成方程式による坑道周辺岩盤挙動のシミュレーション ○羽柴 公博, 大久保 誠介, 福井 勝則
21	O	トンネル用ソフトで通常的设计解析と同時に描く地山特性曲線と内空変位曲線 ○木山 英郎, 西村 強, 畑 浩二, 中岡 健一
22	OP	多殻モルタルを利用した断層変位によるトンネルの損傷を緩和する技術の開発 ○玉置 久也, 谷 和夫
23	OP	リングカット工法で掘削されたトンネルの挙動 ○林 久資, 長谷川 昌弘, 吉岡 尚也

■『斜面・構造物基礎 1』/1月10日(木) 9:30~11:30/会場:第2会場(AB会議室)/司会:石井 建樹(木更津高専)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
24	O	2次元および3次元DEMを用いた落石シミュレーションに関する検討 ○表 真也, 岡田 慎哉, 石川 博之, 伊東 佳彦, 日下部 祐基
25	OP	3次元落石運動解析における軌跡の拡がりに関する検討 ○西村 強, 福田 毅, 橋本 純成, 木山 英郎
26	O	豪雨時の斜面崩壊における崩壊後挙動の予測 アイダン オメル, ○渡嘉敷 直彦
27	O	DDAによるブロック構造の動的応答に関する基礎的検討 ○萩原 育夫, 佐々木 猛, 大西 有三, 伊藤 洋
28	O	岩盤斜面に生じる進行性破壊挙動の評価に関する研究 ○山下 裕司, 江藤 芳武, 蔣 宇静, 李 博, 田作 祐輔, 澤田 昌孝
29	O	斜面点検のデータベース化とGIS(地理情報システム)を用いた防災マップの作成 ○神田 紀子, 進士 正人
30	O	衛星画像と統計解析手法を利用した斜面崩壊危険性評価に関する研究 ○森本 裕, 渡辺 宏, 楠見 晴重
31	O	数理化理論とGISを用いたジャワ島中部地域の地すべりハザードマップの構築に関する研究 Su Su Kyi, Nguyen Dinh Tu, Nguyen Minh Trung, Dwikotta Karnawati, ○水戸 義忠, 青木 謙治

■『斜面・構造物基礎 2』/1月10日(木) 15:00~16:30/会場:第2会場(AB会議室)/司会:安原 英明(愛媛大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
32	O	流れ盤斜面の地震時崩壊発生および崩壊範囲の解明に関する基礎的検討 ○石丸 真, 河井 正
33	O	地震時斜面崩壊による崩土の到達距離に関する影響要因の検討 -斜面高さと加速度の影響について ○栃木 均, 中島 正人, 大鳥 靖樹, 伊東 守, 蛭澤 勝三
34	O	地震時の地すべり面強度低下とこれを考慮した斜面安定性評価 ○熊崎 直樹, 鳥羽瀬 孝臣, 柏柳 正之, 秦野 輝儀, 水橋 雄太郎
35	O	崩落パターンの違う海岸崖浸食とその危険度評価手法 ○薄井 隆義, 安原 一哉, 村上 哲, 小峯 秀雄
36	O	ダム基礎岩盤における低角度割れ目の調査と安全性の評価 ○石橋 正義, 中島 修, 坂元 浩二, 遠山 修平, 脇坂 安彦, 山口 嘉一
37	O	重要構造物基礎地盤の安定性評価における解析条件の設定方法について ○寺田 賢二

発表形式・・・O：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表+ポスター発表

■『透水性・グラウト1』/1月10日(木) 15:00~16:30/会場:第1会場(講堂)/司会:岸田 潔(京都大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
38	○	弾性波を用いた岩盤広域透水場の評価手法に関する研究 ○勝 賢太, 大西 有三, 西山 哲, 矢野 隆夫, 安藤 賢一, 吉村 公孝
39	○	立坑トンネルの地下水制御のための情報化施工簡易システム (SWING-SHAFT) の構築 ○大西 有三, 高橋 健二, 熊 俊, 木村 哲
40	○	水封式岩盤タンクの健全性評価に対する透水係数の逆解析手法の適用 城代 邦宏, 植出 和雄, ○若林 成樹, 宮下 国一郎
41	○	地山物性の空間変動を考慮した境界要素法の地下水流動解析への適用性に関する検討 ○熊坂 博夫
42	○	地下空洞型処分施設性能確認試験における三次元地下水流動解析を用いた周辺岩盤間隙水圧測定区間の検討について ○大沼 和弘, 寺田 賢二, 松村 勝秀, 小山 俊博, 矢島 一昭
43	○	地表傾斜データを用いた水理地質構造の推定手法の有効性について ○大山 卓也, 竹内 竜史, 三枝 博光, 尾上 博則, 松木 浩二

■『透水性・グラウト2』/1月11日(金) 9:30~11:30/会場:第2会場(AB会議室)/司会:澤田 昌孝(電力中央研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
44	○	大深度立坑における湧水抑制対策のためのプレグラウチング ○久慈 雅栄, 原 雅人, 南出 賢司, 竹内 真司, 見掛 信一郎, 佐藤 稔紀
45	○	水押し試験における限界圧力判定精度 山口 嘉一, 佐藤 弘行, ○西岡 正浩
46	○	単一亀裂を対象とした光学的手法によるトレーサー移行計測データに基づく物質移行評価 ○佐藤 久, 澤田 淳
47	○	岩盤不連続面のせん断時における透水性および物質移行に関する研究 ○小山 倫史, Lanru Jing, 大西 有三
48	○	サブクリティカル亀裂進展および圧力溶解を考慮した岩盤不連続面の圧縮挙動評価 ○安原 英明, 木下 尚樹, 中島 伸一郎, 岸田 潔
49	○	堆積軟岩のダイレイタンシー特性が透水性に及ぼす影響について ○河合 祐輔, 中島 伸一郎, 安原 英明, 岸田 潔

■『放射性廃棄物処分』/1月11日(金) 15:00~17:00/会場:第2会場(AB会議室)/司会:平川 芳明(ニュージェック)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
50	○	堆積軟岩を対象とした原位置加熱実験の熱-水-応力連成解析による事前検討 ○澤田 昌孝, 竹田 佳代, 谷 和夫, 岡田 哲実, 高倉 望, 池野谷 尚史
51	○	高温下における堆積軟岩の原位置加熱実験 (フェーズ I) ○池野谷 尚史, 岡田 哲実, 高倉 望, 澤田 昌孝, 平野 公平, 谷 和夫
52	○	堆積軟岩を対象としたヒーター試験に伴う高温域進展状況のモニタリング ー比抵抗トモグラフィ法を用いた検討ー ○窪田 健二, 鈴木 浩一, 池野谷 尚史, 高倉 望, 谷 和夫
53	○	ひずみの局所化に注目したボーリング孔形状のシミュレーション ○小川 豊和, 木ノ村 幸士, 青木 智幸, 山本 卓也, 松井 裕哉, 真田 祐幸
54	○	堆積軟岩地山のひずみ軟化挙動を考慮した立坑の掘削時安定性評価 ○木ノ村 幸士, 小川 豊和, 青木 智幸, 山本 卓也, 松井 裕哉, 真田 祐幸
55	○	地層処分施設における多連設坑道の設計手法に関する検討 ○平本 正行, 小林 保之, 水谷 和彦, 森田 篤
56	○	粒状体解析手法による岩石の破壊靱性試験の解析 ○船津 貴弘, 李 茜, 石川 昌義, 米田 直広, 清水 則一

発表形式・・・○：口頭発表，P：ポスター発表，OP：口頭発表＋ポスター発表

■『資源・エネルギーと物理探査』

1月10日(木) 9:30~11:30/会場:第3会場(CD会議室)/司会:西澤 修(産業技術総合研究所)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
57	O	ロックフィジックスをベースにした物理探査データの解釈技術の研究 ー岩石物性データの収集と予備的な岩石モデル解析ー ○高橋 亨, 田中 莊一
58	O	超磁歪型振源を用いた孔内S波トモグラフィに関する基礎的検討 戸井田 克, ○横田 泰宏, 染谷 麻優子
59	O	坑井内震源を必要としない坑井間反射法 ○湊 翔平, 尾西 恭亮, 松岡 俊文, 土山 滋郎, 東 宏幸
60	O	繰り返し坑井間地震探査による圧入CO ₂ の流動モニタリング ○尾西 恭亮, 松岡 俊文, 信岡 大, 齋藤 秀樹, 東 宏幸, 薛 自求
61	O	比抵抗実験による超臨界CO ₂ 流動挙動の推定 ○中塚 善博, 尾西 恭亮, 山田 泰広, 薛 自求, 松岡 俊文
62	O	CO ₂ ハイドレートの生成熱を用いたメタンハイドレートの採掘 ーCO ₂ /水エマルジョンの作製法の検証ー ○池川 洋二郎
63	O	熱水環境下における岩盤空洞の熱挙動に関する一考察 ○木下 尚樹, 安原 英明

■『岩盤の破壊』/1月10日(木) 15:00~16:30/会場:第3会場(CD会議室)/司会:多田 浩幸(清水建設)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
64	O	付加体形成と海底地すべり ○山田 泰広, 松岡 俊文
65	O	付加体モデル形成過程における断層活動及び内部応力状態 ○大島 佑介, 山田 泰広, 松岡 俊文
66	OP	横ずれ断層変位に伴って表層岩盤に発達する亀裂の実験的検討 ○佐藤 あすみ, 谷 和夫, 澤田 昌孝
67	O	ON THE MECHANICAL INSTABILITY OF A DISPLACEMENT-SOFTENING PLANE OF WEAKNESS ○Koji Uenishi
68	O	不連続面の摩擦すべりが亀裂進展に及ぼす影響について ○石井 建樹, 京谷 孝史, 寺田 賢二郎
69	O	岩石の限界ひずみを考慮した均質化法に基づく岩盤の強度特性評価 ○小早川 博亮, 京谷 孝史

■『室内試験・模型試験』/1月11日(金) 9:30~11:30/会場:第3会場(CD会議室)/司会:田坂 嘉章(東電設計)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
70	O	自然岩盤不連続面の室内一面せん断 - 透水同時実験方法の提案 三谷 泰浩, ○下田 誠, 江崎 哲郎, 池見 洋明, 山上 裕也
71	O	堆積性軟岩の一次元膨潤変形・膨潤圧特性における内部固結力と供給水の影響 ○大森 慎哉, 小峯 秀雄, 安原 一哉, 村上 哲, 中村 隆浩
72	O	土岐花崗岩を対象とした応力ひずみ構成式の時間依存性パラメータの室内試験による決定 ○平野 享, 瀬野 康弘, 中間 茂雄, 大久保 誠介
73	O	上総層群堆積軟岩の一軸クリープ特性の温度依存性 岡田 哲実, ○平賀 健史, 高倉 望, 谷 和夫, 澤田 昌孝, 池野谷 尚史
74	O	低温下における岩石の力学特性に関する実験的研究 ○中谷 篤史, 若林 成樹, 百田 博宣, 高崎 英邦
75	OP	繰返し三軸試験による礫岩の繰返しせん断特性 ○永守 学, 谷 和夫, 岡田 哲実
76	OP	地盤内埋設型センサーの計測手法に関する検討 ○田中 悠一, 谷 和夫, 岡田 哲実, 高倉 望, 池野谷 尚史

発表形式・・・O: 口頭発表, P: ポスター発表, OP: 口頭発表+ポスター発表

■『最新の計測手法』／1月11日(金) 15:00～17:00／会場:第3会場(CD会議室)／司会:岸田 潔(京都大学)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
77	OP	光る変位計の開発とその岩盤工学における適用の可能性について ○芥川 真一, 高野 晃佑, 森 翔矢, 金子 勝, 高木 加乃
78	O	地盤環境のモニタリングの広域化とコストダウンのための無線センサネットワークの開発と検証 ○池川 洋二郎, 細谷 真一
79	OP	リアルタイム岩盤斜面モニタリングネットワークシステムの研究 ○西山 哲, 大西 有三, 矢野 隆夫, 山本 剛, 西川 啓一
80	O	岩盤構造物モニタリングへのICタグの適用性に関する基礎的検討 ○中島 伸一郎, 島崎 修, 堤 祥一, 大下 武志
81	OP	大深度地殻応力計測を目的としたBABHY式水圧破碎法とその実用化 ○伊藤 高敏, 伊藤 久男, 小村 健太郎, 田中 博, 加藤 春實, 狩野 嘉昭
82	O	三次元多段式応力測定システムの実用化への検討 ○板本 昌治, 桑原 和道, 丹野 剛男, 中山 芳樹, 水田 義明, 新 孝一
83	O	パイロット孔壁変形法による原位置三次元応力測定 ○李 基夏, 菅原 隆之, 藤井 義明

(2) ポスター発表セッション

■ポスター掲示期間:1月10日(木) 9:30～1月11日(金)17:15

■コアタイム:1月10日(木)14:00～15:00, 1月11日(金)14:00～15:00

■会場:第1会場(講堂)

講演番号	発表形式	タイトル・著者 (○は発表者)
1	OP	山はねを伴うトンネル工事へのAEモニタリングの適用 長谷川 温, 細川 嘉一, ○森 孝之, 竹市 篤史, 藤井 宏和
10	OP	水封ボーリングを用いたLPG貯蔵空洞周辺の水封機能確認方法 ○下茂 道人, 真下 秀明, 前島 俊雄, 山本 浩志, 青木 謙治
22	OP	多殻モルタルを利用した断層変位によるトンネルの損傷を緩和する技術の開発 ○玉置 久也, 谷 和夫
23	OP	リングカット工法で掘削されたトンネルの挙動 ○林 久資, 長谷川 昌弘, 吉岡 尚也
25	OP	3次元落石運動解析における軌跡の拡がりに関する検討 ○西村 強, 橋本 純成, 木山 英郎
66	OP	横ずれ断層変位に伴って表層岩盤に発達する亀裂の実験的検討 ○佐藤 あすみ, 谷 和夫, 澤田 昌孝
75	OP	繰返し三軸試験による礫岩の繰返しせん断特性 ○永守 学, 谷 和夫, 岡田 哲実
76	OP	地盤内埋設型センサーの計測手法に関する検討 ○田中 悠一, 谷 和夫, 岡田 哲実, 高倉 望, 池野谷 尚史
77	OP	光る変位計の開発とその岩盤工学における適用の可能性について ○芥川 真一, 高野 晃佑, 森 翔矢, 金子 勝, 高木 加乃
79	OP	リアルタイム岩盤斜面モニタリングネットワークシステムの研究 ○西山 哲, 大西 有三, 矢野 隆夫, 山本 剛, 西川 啓一
81	OP	大深度地殻応力計測を目的としたBABHY式水圧破碎法とその実用化 ○伊藤 高敏, 伊藤 久男, 小村 健太郎, 田中 博, 加藤 春實, 狩野 嘉昭
84	P	岩盤不連続面のせん断強さと凹凸破壊の関係 ○寶谷 周, 矢島 良紀, 佐々木 靖人
85	P	岩盤斜面の画像計測モニタリング手法の研究 ○西山 哲, 大西 有三, 矢野 隆夫, 天野 淨行, 村上 治
86	P	3次元GISを活用した精密施工支援システムの研究 ○大前 延夫, 大西 有三, 建山 和由, 西山 哲, 黒台 昌弘

注) 従来から要望が多かった「ビール片手に議論を!」との提案を受けて、今年度はポスター会場を第1会場(講堂)とし、懇親会中(1/10 18:10～20:00)もポスター閲覧ができるようにします。発表者は可能な限りポスター会場に控えるようお願いいたします。懇親会に参加されない方もご協力をお願いいたします。

発表形式・・・O: 口頭発表, P: ポスター発表, OP: 口頭発表+ポスター発表

7. 一般セッション講演要領

(1) 口頭発表要領

- ・講演会の各セッションの運営は、当該セッションの座長に一任されています。
- ・各セッションの開始時刻 5 分前に、座長と発表者の打合せを、その会場で行ないます。その際、座長より、発表順番、発表時間、討論時間などについて指示がありますので、これを遵守してください。
- ・発表時間は原則として、入退場も含めて 12 分です。12 分以内に発表が完了できるように、準備をお願いします。(発表時間 12 分に質疑応答は含まれません)
- ・発表に際しては、液晶プロジェクターを使用します。パソコンの操作は、講演者自身でお願いします。(会場担当係では対応しかねますのでご了承ください)。
- ・液晶プロジェクターとパソコンは全セッションに用意します(ポスター会場を除く)。液晶プロジェクターの持込は禁止いたします。
- ・全ての口頭発表セッションで、液晶プロジェクターによる発表となります。OHP による発表はできませんのでご注意ください。なお、差し棒・レーザーポインタは用意いたします。

1. 発表者が準備するもの

- (1) 発表者は、パワーポイントなどの発表用ファイルを保存した CD-ROM(後述する 2. で指定した OS で読み取れるフォーマット)をご持参ください。各部屋に準備されたパソコンに事前にインストールして発表していただけます。なお、ファイルサイズは 100MB 以下を厳守ください。CD-ROM 以外のメディアを持参されてもパソコンへのインストールは保障できません。USB メモリは使用できますが、パソコンへのインストールが正常にできない場合がありますので、土木学会としては保障できません。
- (2) 発表用ファイルの名前は混乱を防ぐために講演番号をファイル名としてください。
例:講演番号.ppt (例えば、講演番号 95 の場合は、95.ppt となります。)
- (3) パソコンは会場設置のものをご利用いただき、持込パソコンの利用は原則禁止とさせていただきます。
ただし、AVI ファイルなどの動画を組み込んだ場合で、会場用パソコンを利用しての発表が不適切な場合は許可いたします。その場合は、液晶プロジェクターと切替器(サンワサプライ SE-EV4)を介して発表者各自のパソコンを接続します。切替器からは端子付きケーブル(HD(3WAY)15pin オス(インチネジ))が出ており、これを各自のパソコン端子に接続していただきます。マッキントッシュ等異種端子のパソコンをお持ちの方は、ご確認のうえ、アダプター等をご用意ください。

2. 会場で使用する液晶プロジェクターとパソコン

- (1) 今回使用する液晶プロジェクターは、以下の通りです。
第 1 会場(講堂): Panasonic TH-L6500JL
第 2, 3 会場(AB, CD 会議室): EPSON EMP-S1H(リアルタイム SVGA, 1400ANSI ルーメン)
- (2) 会場で使用するすべてのパソコンの基本仕様は次の通りです。これ以外のアプリケーションで作成された発表用資料の起動はできませんので、各自のパソコンを用意する等の対応をお願いします。
PC: NEC PC-98NX VersaPRO シリーズ
OS: Microsoft Windows XP Professional SP2
プロセッサ: インテル PentiumM 1.1 GHz
インストール済みアプリケーション: Microsoft PowerPoint 2003

3. 発表会場における発表用データのインストール

- (1) 発表者の方は、当該セッション開始前の休み時間中に、講演会場設置のパソコンに、発表用ファイルをインストールしてください。また例外的に、持込のパソコンを用いて発表をされる方はパソコン接続ならびに投影チェックを各自で実施してください。
- (2) ファイルの立ち上げ等の操作は各自の責任で行ってください。持込のパソコンの場合、画面出力の操作はパソコンの機種によって異なります。
- (3) 発表者の方は会場前方席で待機していただくとともに、スムーズな進行に協力ください。
- (4) 発表終了後に、会場担当係が責任を持ってファイルを削除します。

4. 不測の事態に備えて

- ・トラブルにより発表順が変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(2) ポスター発表要領

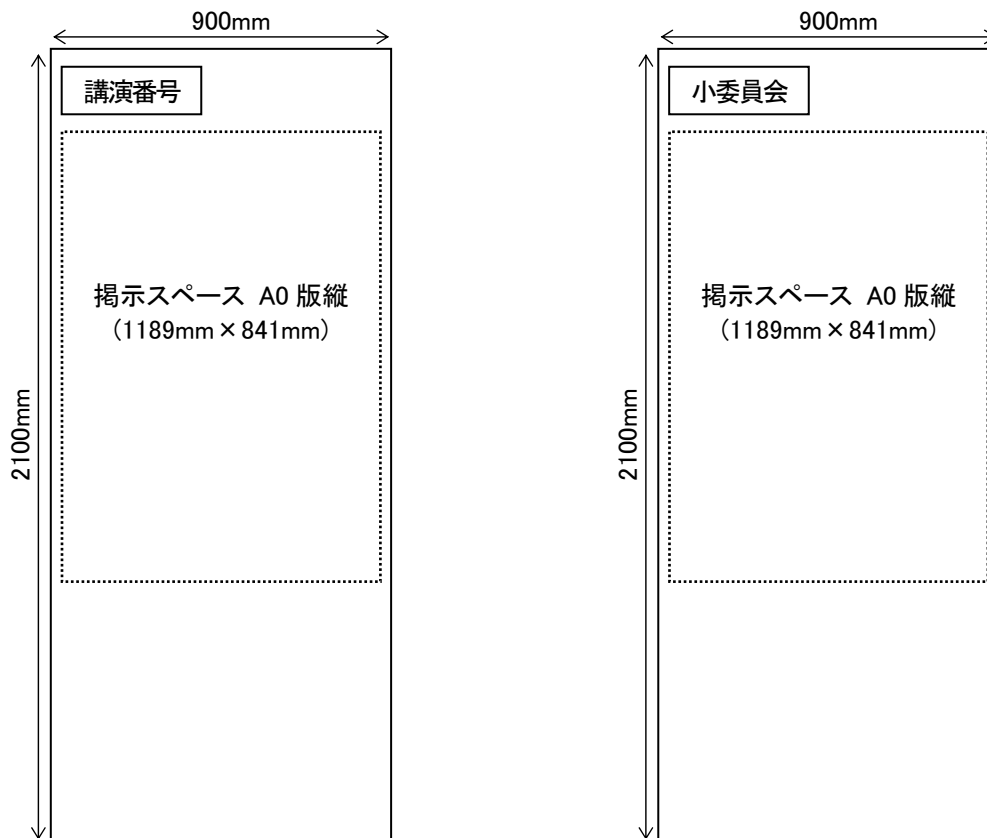
【掲示時間】

- ・ポスター会場は、土木学会講堂を使用します。
- ・掲示期間は、1月10日9時30分から1月11日17時15分までです。
- ・討議のためのコアタイムは、1月10日、11日の14時から15時です。この間、発表者はポスター会場に控えて下さい。
- ・優れたポスター発表者に対して表彰を行ないますので、発表者は1月11日閉会時に講堂へ集合して下さい。

なお、従来から要望が多かった「ビール片手に活発な議論」との提案を受けて、今年度はポスター会場を第1会場(講堂)とし、懇親会中(1/10 18:10~20:00)もポスター閲覧ができるようにします。発表者は可能な限りポスター会場に控えるようお願い致します。懇親会に参加されない方もご協力をお願い致します。

【掲示方法】

- ・ポスター掲示用に、1発表あたり縦2100mm×横900mmのスペースを提供します(下図参照)。
- ・スペースの左上に講演番号を掲示していますので、該当番号の下にポスターを掲示して下さい。
- ・ポスターは、A0縦(1189×841)の範囲を使ってまとめて下さい。
- ・空きスペースは、写真や拡大図等の展示にお使い下さい。
- ・フォーマットは特に取り決めませんが、文字は1m程度離れた位置でも読める程度の大きさにして下さい。
- ・掲示の際は、事務局が提供する押しピンを用いて下さい(テープは不可)。
- ・パソコンを使用したの展示も可能です(ノートPC1台分の脇机を準備しますので、あらかじめ事務局までお知らせ下さい)。
- ・コンセントは事務局で用意しますが、パソコンは発表者が持参して下さい。



ポスター掲示パネル正面図

8. 表彰制度

■概要	岩盤力学委員会では、岩盤力学に関するシンポジウムにおいて表彰を行うことしております。表彰の対象は、シンポジウムで実施されたすべての口頭・ポスター発表です。選考は、提出された原稿、発表、ポスターにおいて、各種項目について審査を行い、受賞者を決定していきます。
■賞の種類	<p>優秀講演論文賞： 提出された原稿と発表の内容が非常に優れているものに贈られます。提出された原稿で、「応用性・実用性」、「新規性・重要性」、「完成度」、「将来性・発展性」について審査を行います。また、講演時には、「発表内容と研究の完成度」、「わかりやすさ」、「スライド資料の出来栄」、「質疑応答」について審査を行います。</p> <p>優秀ポスター賞： ポスターと講演内容が優れたものに贈られます。選考には、参加者の声が反映されることになります。（提出された原稿で、「応用性・実用性」、「新規性・重要性」、「完成度」、「将来性・発展性」について審査を行います。この時点で一定以上の評価を得ていることが受賞の条件になります。）</p>
■表彰式	受賞者の発表は、シンポジウムの閉会式（1月11日 17:00～17:15）で行います。受賞者には、盾と賞状が送られます。